

府民の森ほしだ園地園地探鳥会 (第4土曜日両園地通算第296回)

令和7(2025)年11月22日(土)9:30～14:30頃 日本野鳥の会大阪支部
友田武・神戸徹・新名泰博・吉山 晃・平 軍二 (090-6901-1425)

I 交野の鳥シリーズ(141)ノスリ

今月は埜辺光男さんが11/1交野バードに投稿された、天野川から私市植物園方向へ上空を飛んできたノスリを利用させていただきました。

今回のノスリは秋の渡りの途中でこれから西南日本に移動する個体と思われていますが、12月～3月は冬鳥として交野市内に滞在する個体があるのでこれからも楽しめると思います。



ノスリ私市植物園((20251101 埜辺光男氏)

I ①ほしだ・くろんど探鳥会でのノスリ

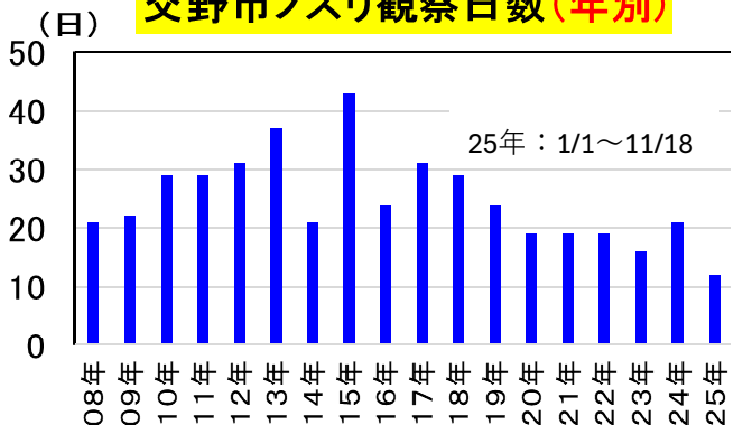
これまで両園地探鳥会を300回近く開催している。その内20%ほどの探鳥会でノスリを確認している。

I ②交野市のノスリ (友田武氏集約)

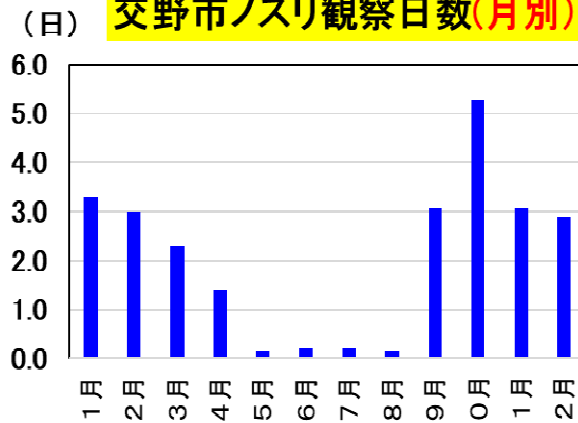
友田武氏は交野野鳥の会の会員の方が、交野市内で

観察された野鳥について、2008年より現在(11/18)まで毎日集約されている。ノスリの観察日数について、年別(下左図)、月別(下右図)に示した。左図から年間20日～40日程度確認されているが、5月～7月の観察がほとんどなく、市内で繁殖していないと思われる。

交野市ノスリ観察日数(年別)



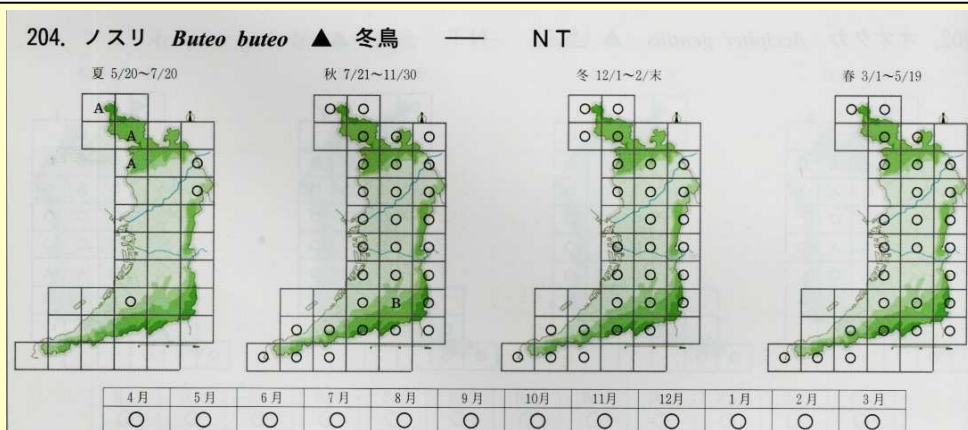
交野市ノスリ観察日数(月別)



I ③大阪府のノスリ 大阪府鳥類目録2016

大阪府では箕面市・能勢町など北摂山地で繁殖記録がある。

また、右図から秋～春の越冬期には、府内のほぼ全域で観察されており、一年中府内のどこかで確認されている。



I ④全国鳥類繁殖分布

鳥類分布調査会2021

全国で冬鳥として越冬し、東日本の山地で繁殖し、西日本でも局所的に繁殖している。

1970年代以降、分布は拡大傾向にあり、これまで繁殖の少なかった低地や西日本でも繁殖例が増えている。1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、107地点から145地点へと増加した。

ノスリ

分類:タカ目タカ科 Eastern Buzzard *Buteo buteo*

全長:♂50.3-53.0cm ♀53.5-59.5cm 翼長:♂349-360.9mm ♀364-392mm 尾長:♂59-74.5mm ♀67-74mm 体重:74

環境省レッドリスト: 絶滅危惧 IB 類(亜種 オガサワラノスリ)

各年代の分布状況の変化

メッシュ数	A	B	C
1974-1978	9	40	96
1997-2002	28	22	146
2016-2021	60	58	181

調査地点

1997-2002	107
2016-2021	145

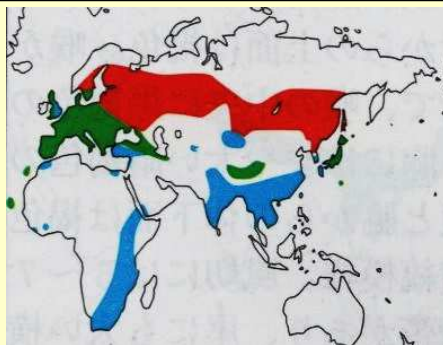


I ⑤ 世界のノスリ分布図

真木・大西 日本の野鳥590

2000年 平凡社

ノスリは日本、ユーラシア大陸の中緯度に広く繁殖域があり、北部で繁殖する個体は、南部(東南アジア～東部アフリカ)に移動し越冬している。



(埜辺光男氏)

II 先月(10月25日)くろんど園地探鳥会

スタート地点で皆さんを待つとき、民家のテレビアンテナ上からイソヒヨドリのさえずりを聞いたが、集合された頃はいなくなり、あとはスズメの声、そしてヒヨドリのみだった。山地に入ってソウシチョウなどの声はするもののゆっくりせず、ヒヨドリだけは多かった。昨年10月にアトリをみた園地事務所近くのアキニレや、10/21にいて今日の資料に載せたクロツグミがいたコブシにも鳥はいなかった。

今日最も期待していたムギマキ、遊歩道より奥に入ったカラスザンショウはまだ緑色で未熟状態、表の炊事棟(2)近くにあるカラスザンショウも赤紫色に変化しているものの熟していないようで、ムギマキのみか、キビタキなども来ていなかった。今夏の暑さでカラスザンショウの実の熟する時期が例年よりも遅れていることによると思われた。山地の遊歩道近くに、秋の味覚ミツバアケビの熟した実や、ガマズミの赤い実が多かったが、鳥の気配は少なく少ないままだった。帰り(下り道)の傍系集落には標高260m～225mの間に続く棚田、稲刈りが終わった田んぼにホオジロ雄雌がいて、餌を探している姿を全員で観察できほっとした。



20251025ホオジロ雄(渡邊信義氏)



20251025ホオジロ雌(松山真由美氏)

Ⅲ カラスザンショウの実の色の変化とムギマキ 20251025 平 軍二

1. カラスザンショウの実の色の変化

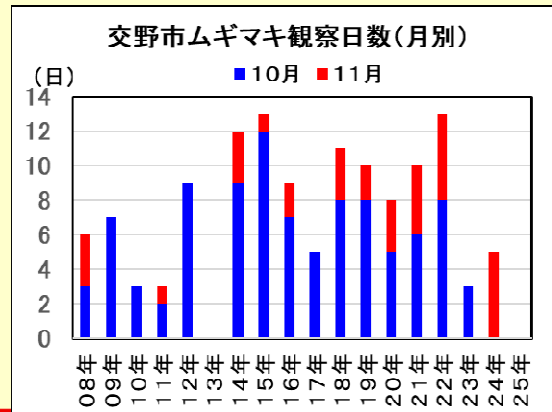
今日の写真(①②)がピンボケですが、カラスザンショウの実の色は熟し方で①→④に変化します。ムギマキやキビタキ・メジロなどが来る時期は、**種子を食べるのは熟した③～④の状態**です。最近の気候変動で夏の暑さが9月まで続き、カラスザンショウの実の熟す時期が遅れてきているのではないかと思います。



2. カラスザンショウの実をついばむムギマキ

交野野鳥の会河村壽氏が2022年11月2日に撮影されたカラスザンショウに来ているムギマキの写真です。

カラスザンショウの黒い種子を咥えていることがわかります。



3. 交野市におけるムギマキ観察日数

友田武氏は交野野鳥の会会員の方が、交野市内で観察された野鳥を、2008年より毎日記録されています。その記録から10月・11月に観察されたムギマキの観察日数を抜粋してみました。当初は10月(青色)の観察が多かったのですが、最近11月(赤色)が多くなってきています。この原因は上述のように夏の暑さで、カラスザンショウの実の熟す時期の遅れでないと推定しています。

4. 今後のカラスザンショウとムギマキ(推測)私見

通常鳥の渡りは鳥自身の**体内時計★**で行動しており、多少の時期の早い遅いはあるものの、ほぼ同じ時期に渡っています。★渡り鳥の体内時計(日経サイエンス社:1988年)

例えば、ツバメは春3月下旬に日本に渡ってきます。越冬地の出発するときの東南アジアは常夏の国であり、気温25℃以上あると思われるのに、到着した日本はまだ早春で20℃前後であり、気温の変化が渡りのタイミングでは無いことがわかります。ムギマキも体内時計で渡りをしており、日本が暑いからといって渡りを遅らせることはなく、渡りの季節(10月下旬～11月上旬)に大好きなカラスザンショウが無いと、餌探しに苦労していると思われます。今年も10月に渡っているムギマキがいる筈ですが、カラスザンショウのような大量に餌源のある木のみが無いと、小さな木々に分散していて観察できないのだろうと思っています。

従って11月上旬には、カラスザンショウにムギマキが来ると思います。

以上は、10月くろんど園地探鳥会でムギマキが出なかったのを、推定理由を書いて、参加者の皆様にお送りした文章です。友田氏が集約されている11月ムギマキ観察日の記録は、11月2日、3日、4日の3日間のみでした。今年の「ムギマキ」シーズンは短期間で終了しました。

Ⅳ 12月くろんど園地探鳥会

2025/12/27(土) 9:30私市駅前

今月と同じように、大阪支部HPのホームズ様式からお申し込みください。

くろんど園地でルリビキを見たいですね。



20221216ルリビタキ(河村壽氏)

V 探鳥会記録（くろんど園地・ほしだ園地）

科名	種名	鳥 類 目 録 8版	年 月 日	2024				2025				鳥 類 目 録 8版 No
				9 28	10 26	11 23	12 28	9 27	10 25	11 22	12 27	
				ほ し だ	く ろ ん ど	ほ し だ	く ろ ん ど	ほ し だ	く ろ ん ど	ほ し だ	く ろ ん ど	
				282	283	284	285	294	295	296	297	
か	ハクテウ8P	17										17
か	オシドリ	21										21
か	ハシロロガモ	26										26
か	オカヨシガモ	27										27
か	ヨシガモ	28					48					28
か	ヒドリガモ	29					5					29
か	カルガモ	32				12						32
か	マガモ	33										33
か	コガモ	35			2	20						35
か	ホシハジロ	38										38
き	ヤマドリ	63										63
き	キジ	64										64
ア	アマツバメ	68										68
ア	ヒメアマツバメ	70										70
か	ホトトギス	80										80
か	ツツドリ	82										82
ハ	キジバト	89	3	4	3	1	1	1				89
ハ	アオバト	93					1					93
ク	バン	100				3						100
ク	オオバン	101				1	24					101
カ	カイツブリ	117				5	1					117
チ	ケリ	128										128
チ	コチドリ	135										135
シ	タマシギ	141										141
シ	タシギ	183										183
シ	イソシギ	188				1						188
コ	コウノトリ	308										308
ウ	カワウ	315				1						315
サ	ゴイサギ	328										328
サ	ササゴイ	330										330
サ	アオサギ	333	2			2						333
サ	ダイサギ	335										335
サ	コサギ	337				9						337
ミ	ミサゴ	343										343
効	ハチクマ	344										344
効	ツミ	352										352
効	ハイタカ	353				1						353
効	オオタカ	354										354
効	トビ	359				1			1			359
効	サシバ	363										363
効	ノスリ	366				1						366
カ	カワセミ	384			1	2	1	3				384
キ	コゲラ	380	1	3	2	3	1	2				380
キ	アカゲラ	384										384
キ	アオゲラ	389										389
ハ	チョウゲンボウ	402										402
ハ	ハヤブサ	407										407
サ	サンショウクイ	411			1							411
サ	リュウキュウサンショウクイ	412										412
サ	サンコウチョウ	418										418
モ	モズ	425	1	2	1				2			425
カ	カケス	427										427
カ	ハシボソガラス	435	5	1	6	1	3	1				435
カ	ハシブトガラス	438	6	7	8	13	6	6				438
レ	キレンジャク	438										438
レ	ヒレンジャク	439										439
シ	ビジュウカラ	440										440
シ	ヤマガラ	442			4	1	5	4	6			442
シ	コガラ	445										445
シ	ビジュウカラ	447			1				1			447
ヒ	ヒヨドリ	458	20	21	35	24	8	30				458
ウ	ツバメ	461	9	1					2			461
ウ	イワツバメ	462										462
ウ	コシアカツバメ	463	11	3				1				463

科名	種名	鳥 類 目 録 8版	年 月 日	2024				2025				鳥 類 目 録 8版 No
				9 28	10 26	11 23	12 28	9 27	10 25	11 22	12 27	
				ほ し だ	く ろ ん ど	ほ し だ	く ろ ん ど	ほ し だ	く ろ ん ど	ほ し だ	く ろ ん ど	
				282	283	284	285	294	295	296	297	
ウ	ウグイス	484			2		2		3			484
ウ	ヤブサメ	486										486
エ	エナガ	467			6	10	21		1			467
ム	センザンムシクイ	478										478
ム	エゾムシクイ	479										479
ム	メボソムシクイ	481										481
ム	オオムシクイ	482										482
ヨ	オオヨシキリ	484										484
メ	メジロ	501	22	24	18	15		1	2			501
キ	キクイタダキ	502										502
ミ	ミソサザイ	503										503
ム	ムクドリ	507	14			16	2					507
ム	コムクドリ	508										508
ツ	トラツグミ	514										514
ツ	マミチャジナイ	525										525
ツ	シロハラ	526				3	2					526
ツ	アカハラ	527										527
ツ	ツグミ	531										531
ツ	ハチジョウツグミ	532										532
ヒ	エゾビタキ	533										533
ヒ	サメビタキ	534										534
ヒ	コサメビタキ	537	1									537
ヒ	オオルリ	539										539
ヒ	コマドリ	545										545
ヒ	キビタキ	550			2							550
ヒ	ムギマキ	552										552
ヒ	ルリビタキ	558					1					558
ヒ	ジョウビタキ	561			1	2	4					561
ヒ	イソヒヨドリ	564	6	3	1	1		4	2			564
ヒ	ノビタキ	568			1							568
カ	カワガラス	573										573
ス	ニューナイスズメ	574										574
ス	スズメ	575	7	3	2	1	15	1				575
イ	カヤクグリ	579										579
セ	キセキレイ	584	1	1	2	1	2					584
セ	ハクセキレイ	585	2	1	3	1	2	1				585
セ	セグロセキレイ	588	11		2	1						588
セ	ビンズイ	591										591
ア	アトリ	597			70		1					597
ア	シメ	598										598
ア	イカル	600										600
ア	ウン	602										602
ア	ベニマシコ	606										606
ア	カワラヒワ	608			3	1						608
ア	マヒワ	613										613
ホ	ホオジロ	618							3			618
ホ	カシラダカ	625										625
ホ	ヨヤマホオジロ	626										626
ホ	アオジ	633				3	25					633
ホ	クロジ	634					1					634
キ	コジュケイ	9										9
ハ	アカハビ	11	1			27						11
チ	ソウシチョウ	25	2	1			3		7			25
	ムシクイSP											
	タカSP											
	マルガモ											
観察種数合計				19	27	32	28	13	18			
個体数				125	176	204	209	51	72			
天候				曇	曇	晴	晴	晴	曇			
参加者				11	14	14	19	9	13			